

回 覧									



第5号(平成29年11月) **ごみ減量情報紙**

加古川市民
27万人の力で

20%ごみ減量を!

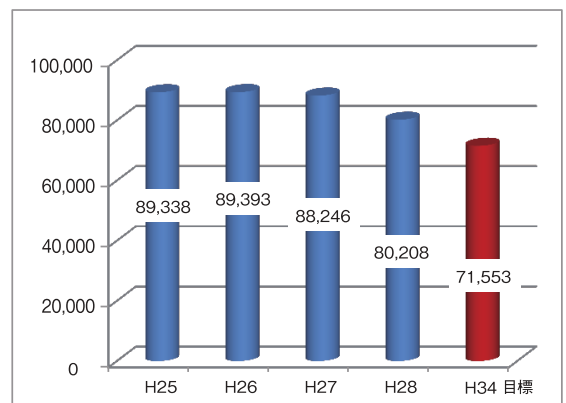
市民の皆さんに、大切なごみ減量のことについてお伝えするため、定期的に情報発信していきます。

◆平成28年度末に目標(20%ごみ減量)の約半分まで達成しました。

加古川市は、燃やすごみの20%減量の取り組みを進めています。平成29年3月末の実績は10.2%、目標の約半分の減量を達成することができました。

これは、市民の皆さまのご協力によるものと、街路や公園から発生する剪定枝・草を資源化する業務(約5,800トンの減量効果)を開始したことなどによります。

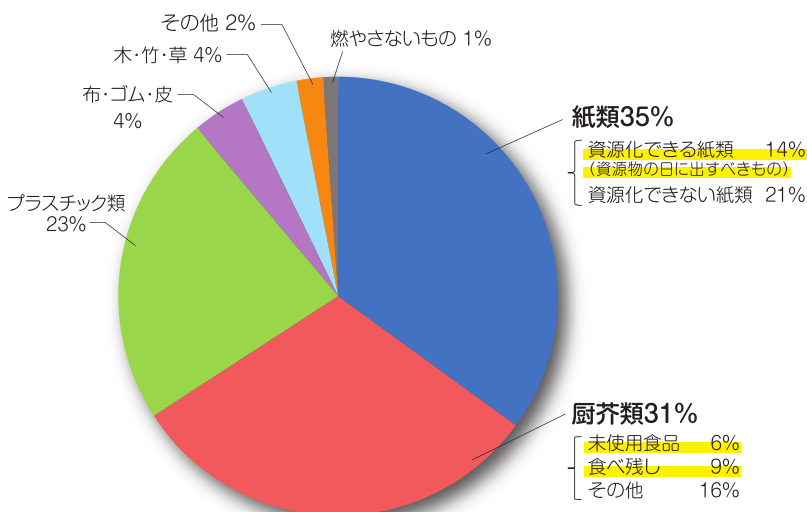
依然、目標達成には厳しい状況ですので、引き続き皆さまのご協力をお願いします。



◆家庭の『燃やすごみ』の約3割は資源化できる紙類や食品ロスです!

今年6月に家庭から出る燃やすごみの実態調査を行いました。燃やすごみの中でもっとも多かったのは紙類の35%で、このうち約半分がリサイクル可能な紙類(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック)でした。

2番目に多かったのは生ごみで31%、このうち食べずに捨てられた未使用の食品が6%、食べ残しが9%で、いわゆる「食品ロス」と呼ばれるものが15%で生ごみの約半分を占めています。紙類の分別、食品ロスの削減で、燃やすごみを減量することができますので、なお一層のご協力をよろしくお願いします。



／まだ食べられる食材が捨てられていました＼

◆『ごみの名称』を変更しました!

ごみ減量と資源化の推進を目指して、市民の皆さまが出すごみが、どのように処理されるのかを分かりやすくするとともに、段ボール、雑がみなどの紙類が、貴重な資源であることを意識していただくため、ごみの名称を変更しました。

- ・「資源ごみ」を**「資源物」**へ
- ・「燃えるごみ」を**「燃やすごみ」**へ
- ・「燃えないごみ」を**「燃やさないごみ」**へ

◆「紙はごみじゃない!」分別・リサイクルにご協力ください!

紙類は「新聞(広告含む)」、「段ボール」、「紙パック」それ以外の紙類である「雑誌・雑がみ」の4つに分類されます。それぞれの品目ごとにまとめていただき、小さな雑がみは、雑誌やカタログなどに挟んでひもで縛ったり、紙袋に入れたりして、地域の集団回収や資源物(紙類)の収集日に出してください。**資源化センター**(クリーンセンター隣)や**資源回収ボックス**(市役所北側の旧水道局庁舎前)もご利用ください。



**50kgの古紙(新聞4~5カ月分)を
リサイクルすれば、
樹齢20~30年の樹木1本を
切らずにすみます。**



◆生ごみを『水切り器』『生ごみ処理機』 『段ボールコンポスト』で減量しましょう!

生ごみは多くの水分を含んでいます。生ごみを軽く絞るだけで減量に大変効果があります。手軽に水切りができる「生ごみ水切り器」を各市民センター等で無料配布しています。ぜひ、使ってみてください。



『電動式生ごみ処理機補助金』

市では、生ごみを減量する生ごみ処理機を購入する際に補助金を交付していますのでご利用ください。温風乾燥型またはバイオ型の電動式の処理機が対象です。



- 補助金額: 処理機の本体価格(税抜き)の2分の1
※上限額は3万円

『段ボールコンポスト』

段ボール箱の中に、ピートモスともみ殻くん炭を入れて、微生物の力を利用して生ごみを分解します。約3カ月間生ごみを処理した後は堆肥として利用することができます。



- すぐに段ボールコンポストをはじめられるセットを無料で配布しています! ※事前に電話連絡をお願いします